

請願第4号

3歳以上の知的障害者（児）に対する紙おむつ購入費助成制度創設
に関する請願

紹	介	議	員	宏
天	野	俊	和	
近	藤	宏	夫	
杉	谷	伸	次	
丹	野	直	雄	
富	安	輝	愛	
長	谷川		エ	
林		リ	き	
松	本	み	ゆ	
村	田	光	隆	

3歳以上の知的障害者（児）に対する紙おむつ購入費助成制度創設に関する請願

【請願の趣旨】

3歳以上の知的障害者（児）を対象とした紙おむつ購入費助成制度を創設することについてご検討いただきたい。

【請願の理由】

知的障害のある方の排泄自立には個人差があり、学齢期以降や成人後も継続して紙おむつが必要となる場合があります。

学校や放課後等ディサービス、福祉サービス事業所、および家庭においてトイレトレーニングや排泄支援を継続していても、障害特性により自立が難しく、長期間にわたり紙おむつを必要とする実態があります。

このように、紙おむつは一時的な育児用品ではなく、障害特性によって生涯にわたり継続して必要となる「生活必需品」となっている家庭が少なくありません。また、身体の成長に伴うサイズアップや昨今の物価高騰等により、家庭の経済的負担は年々深刻化しています。さらに、障害のある方の養育・介護においては、療育や通院、日々の生活支援など、保護者や家族に継続的な負担が生じます。こうした事情から、保護者の就労時間や働き方に制約が生じることも多く、紙おむつにかかる継続的な費用は、家計にとって極めて大きな負担となっています。

現在、近隣自治体である長岡京市、京田辺市、木津川市などでは、3歳以上の知的障害者（児）等を対象とした紙おむつに関する給付や助成制度がすでに実施されています。一方、向日市においては3歳以上の知的障害者（児）を対象とした同様の制度がなく、居住する自治体によって支援内容に格差が生じているのが現状です。つきましては、向日市においても対象となる当事者の実態やニーズを的確に把握した上で、年齢、障害の程度、所得要件、助成額等を含めた制度設計を前向きに検討していただきたく、ここに請願いたします。

令和8年8月24日

請 願 者

向日市議会議長 山 田 千枝子 様